

# 地域医療における 自治体病院の役割

札幌学院大学 経済学部経済学科3年 加藤ゼミ

河野弘昌・久保隆宗・坂野貴斗・谷崎祥平・林 尚人  
日吉和磨・福井康弘・前田聖貴

# 項目

## 0. プロローグ

道新記事～問題提起

## I. 自治体病院について

1-1. 概念

1-2. 現状

## II. 全国自治体病院の問題

2-1. 医師偏在

2-2. 赤字経営

2-3. 公立病院改革の方向性

## III. 江別市立病院の

## 事例研究

3-1. 概要

3-2. 内科医総辞職問題

3-3. 地域支援の取り組み

～地域医療連携～

## IV. 政策提言

4-1. かかりつけ医

4-2. 総合内科

4-3. まとめ

# 過酷勤務「燃え尽きた」

## 全内科医が辞職 江別市立病院

「市立」江別の内科医七人が九月末、辞職を江別市立病院、市立市民病院の出身医を擁護するため、外務省の休むい、最悪の事態に陥ったが、市民医の存在はどうか、正常化のめざしている。医師会と市立病院との関係は、市民医の存在が鍵となる。

### 夜間の重患 一手に

#### ■医師

この医師は、市立市民病院に勤務する内科医で、夜間の重患を一手に担当している。医師は、市民医の存在が鍵となる。



「市立」江別の内科医七人が九月末、辞職を江別市立病院、市立市民病院の出身医を擁護するため、外務省の休むい、最悪の事態に陥ったが、市民医の存在はどうか、正常化のめざしている。医師会と市立病院との関係は、市民医の存在が鍵となる。

## 市立病院

# 内科系常勤医ゼロに?

### 辞職申し出 来月末まで 民間と待遇に差

【江別】江別市立病院の内科系の医師七人が相次いで辞職を申し出て、九月末には内科系の四つの診療科の常勤医師がゼロになる可能性が強まっている。同病院は二〇〇四年年度末で累積欠損金が三十四億円の赤字に達したため経営健全化計画を策定、本年度から五力年で取り組み始めたばかり。医師不在で、計画遂行にも急ブレーキがかかりそうだ。

(中尾吉清)



## 健全化に黄信号

消化器科の常勤医師は、たに辞職するのは循環器科の常勤医師も、たに辞職する。新科の四人、呼吸器科二人、七月までに辞職した。

## 経営優先？遅れた対応

【市立】江別の内科医七人が九月末、辞職を江別市立病院、市立市民病院の出身医を擁護するため、外務省の休むい、最悪の事態に陥ったが、市民医の存在はどうか、正常化のめざしている。医師会と市立病院との関係は、市民医の存在が鍵となる。

## 弱まる医局の力

【大学】市立市民病院に勤務する内科医で、夜間の重患を一手に担当している。医師は、市民医の存在が鍵となる。

内科(内分科系)一人の計七人。一人は地元で開業するが、残りは市外の民間病院などに移る。昨年八月には内科系の常勤医師は十二人いた。流出が激しくは、池田和司事務長によると、「民間病院との労働条件の差が大きい」という。今春、院長が辞任し、そのまま空席となっている。市立病院には夜間急病診療所(夜診)が併設されている。当直医が救急医療にも駆り出され、「負担が重すぎる」と指摘されている。このため、市は夜診の分離を急ぎ、十月一日に錦町別館に移転オープンさせるが、常勤医師の辞職を食い止める決め手にはならなかった。非常勤の医師で外来の診療をまかなっている。医師不足の解消へ、抜本的な待遇改善も求められそうだ。

# 問題意識

自治体病院は、地域医療において基幹的な役割を担う

実際には...

多くの自治体病院が赤字経営や医師不足等の問題に直面

現状を分析

地域医療連携や地域支援における  
自治体病院が果たす役割と課題を考える

# ***I 自治体病院について***

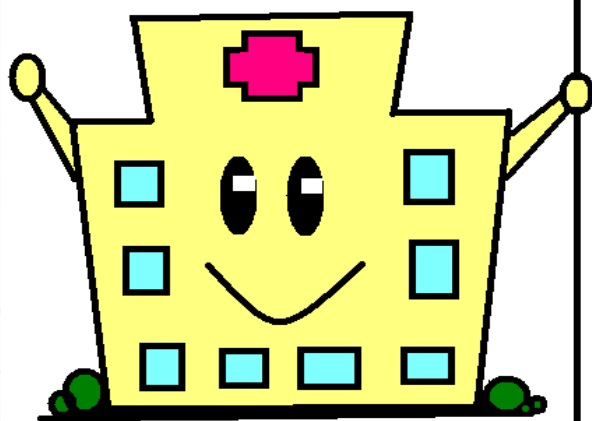


# 1 - 1 概念

## 自治体病院とは...

- ・ 一般に地方公共団体が開設者となっている病院
- ・ 開設の経緯、立地条件、規模は病院ごとに様々。  
役割は一様ではない

全国自治体病院協議会によると



自治体病院の役割

**僻地等の医療の確保**

**地域医療水準の向上**

**地域医療機関との連携**

# 自治体病院の規模による役割の違い

## ○大規模病院 (200床以上)

- 高度医療の提供
- 病院全体の医療水準の維持・向上
- 地域全体の医療提供

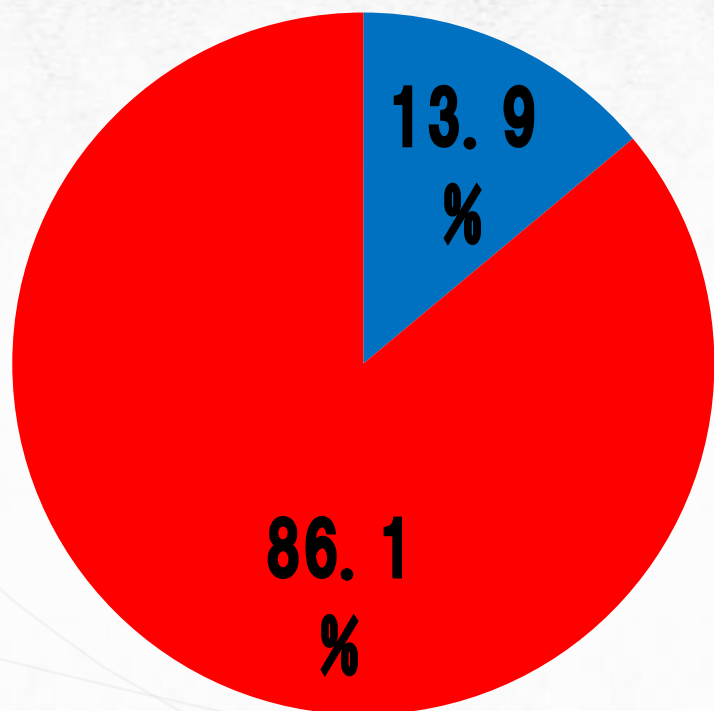
## ○中小病院 (200床未満)

- 過疎地域において、中核的な医療機関として、住民の医療を支える（最後の砦）
- 地域包括ケアサービス

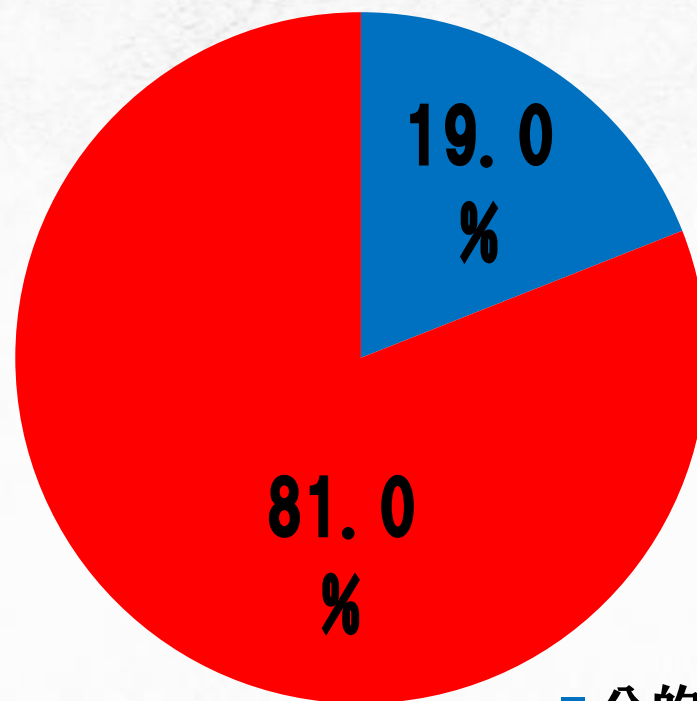
## 1-2 現状

## 自治体病院の割合

全国



北海道

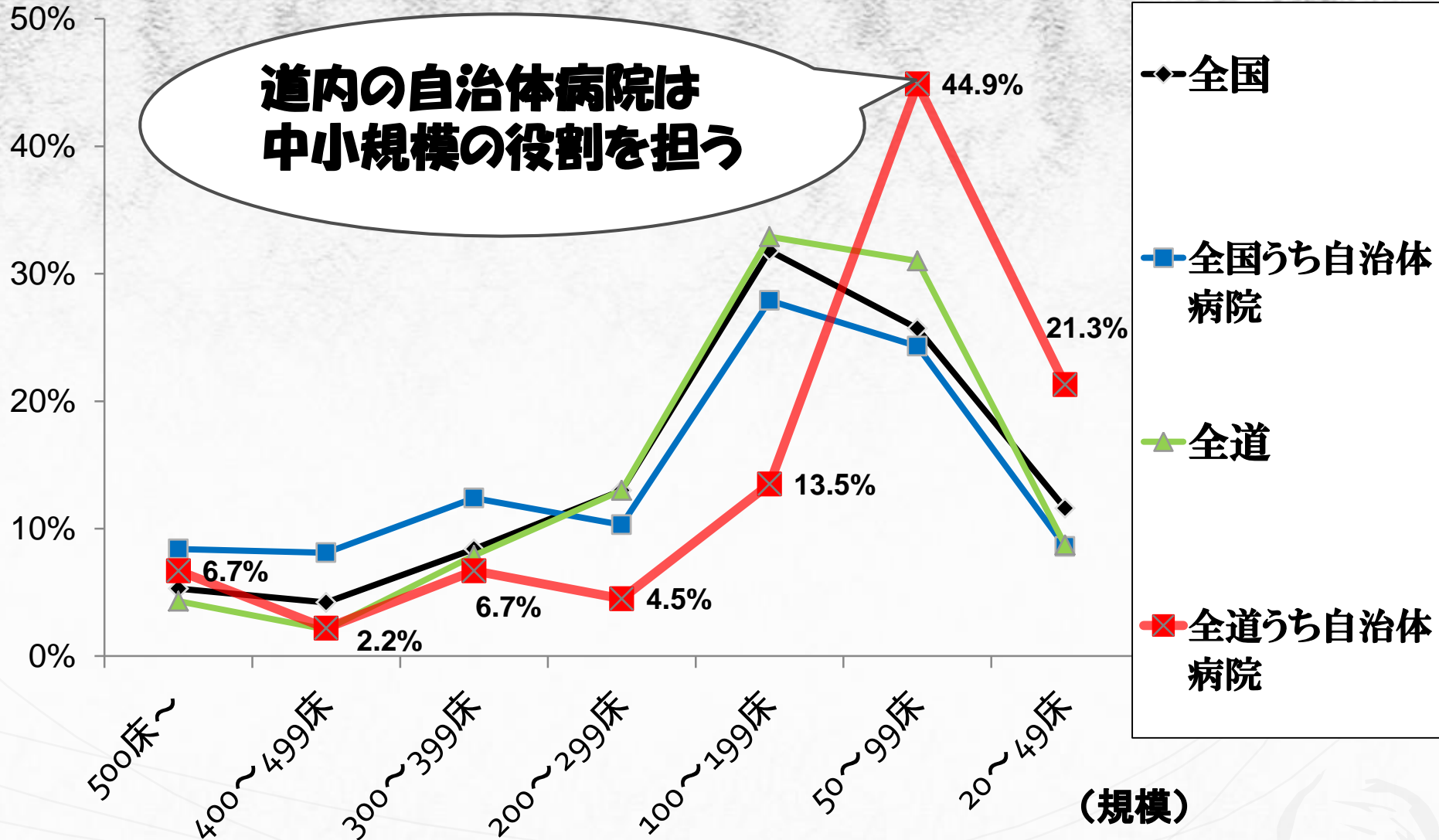


- 公的医療機関比率
- 民間医療機関比率



# 病院状況（病床規模別）

(病院比率)



# **Ⅱ 全国自治体病院の 問題**

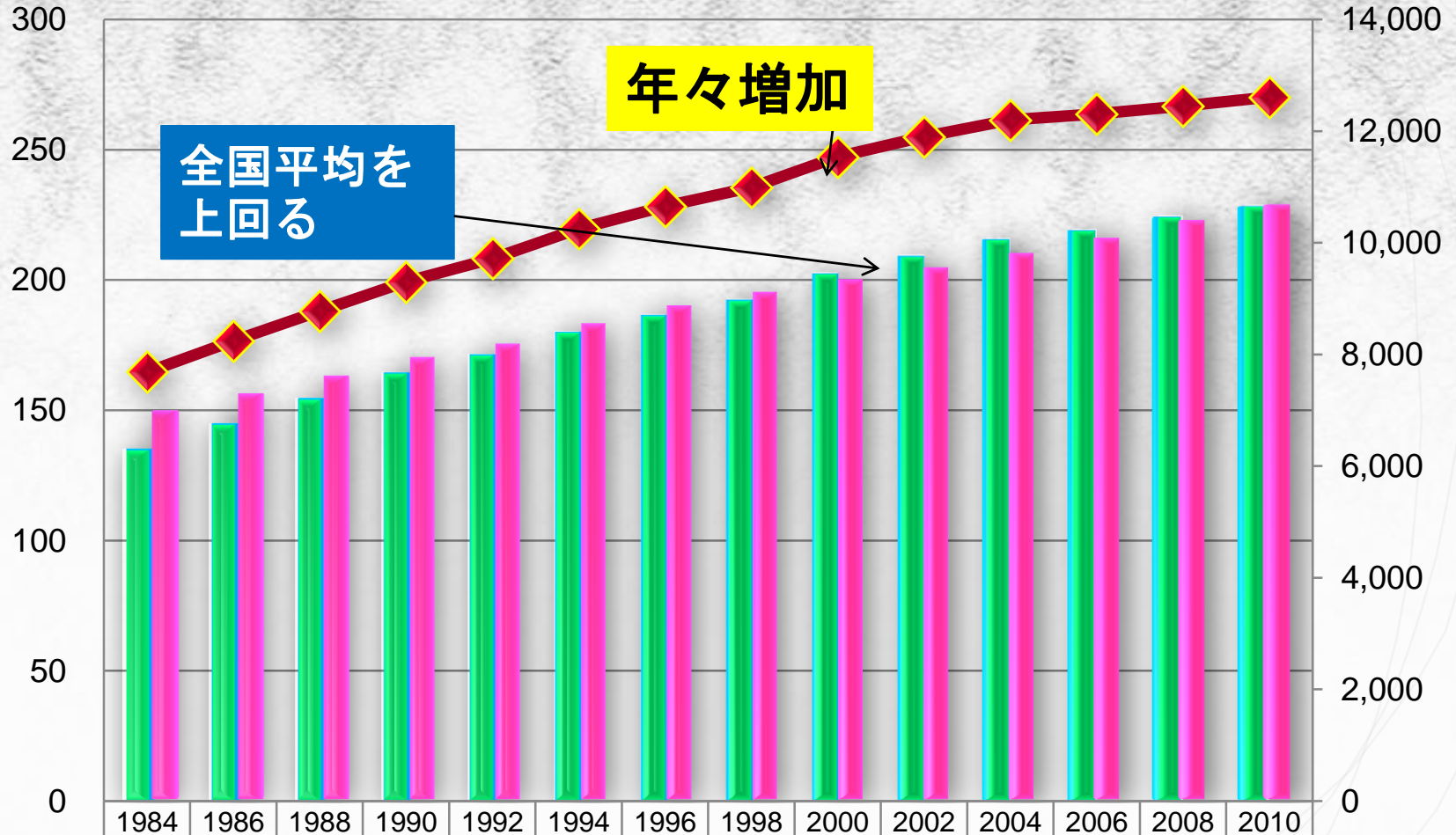


# 4つの問題



# 2-1 医師偏在

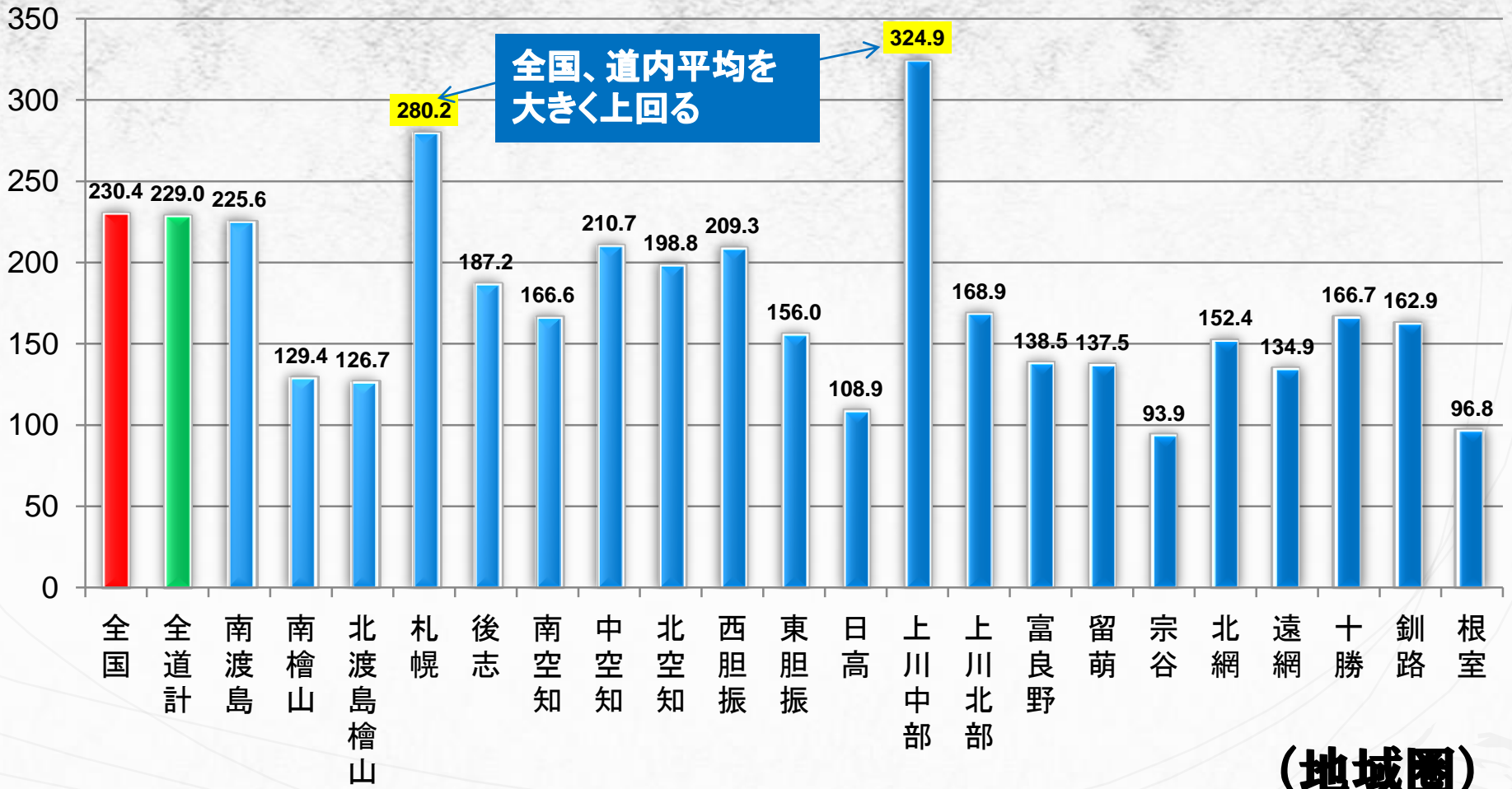
## 医師数の推移



	1984	1986	1988	1990	1992	1994	1996	1998	2000	2002	2004	2006	2008	2010
10万人対(道内)	135.3	145.1	154.8	164.8	171.7	180.5	187.0	192.8	203.1	209.8	216.2	219.7	224.9	229.0
10万人対(全国)	150.6	157.3	164.2	171.3	176.5	184.4	191.4	196.6	201.5	206.1	211.7	217.5	224.5	230.4
道内の医師総数	7,683	8,241	8,780	9,301	9,716	10,24	10,65	10,99	11,54	11,89	12,20	12,30	12,44	12,61

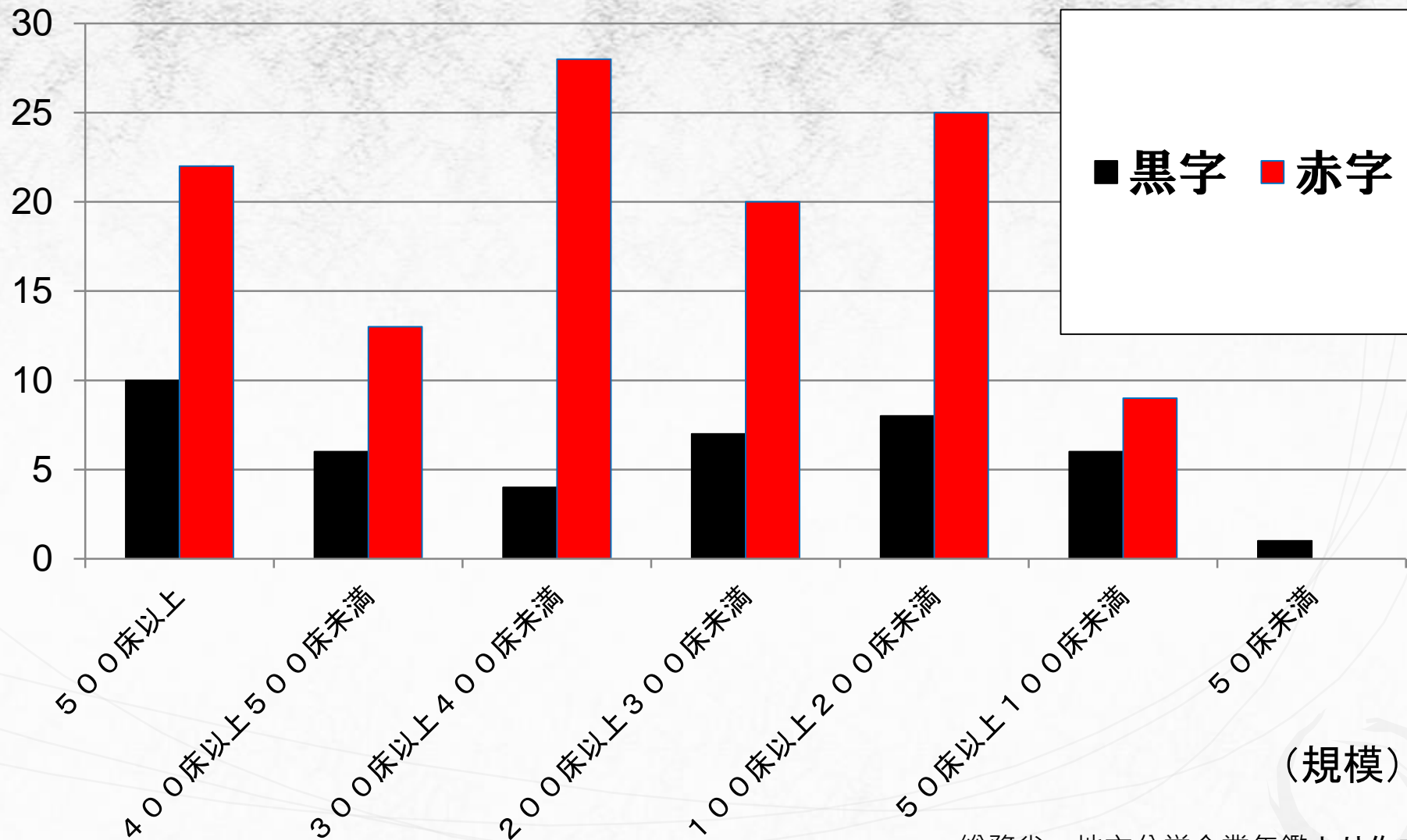
# 道内2次医療圏別 人口10万人対医師数（2010年）

(人)



## 全国の黒字・赤字病院数（2010年）

(病院数)



(規模)